



## おめでとう

**旭日双光章**  
平野利次さん(福良)



▲平野利次さん

秋の叙勲で11月3日、平野利次さん(福良)が旭日双光章を受章されました。平野さんは、昭和50年から旧南淡町議会議員として、6期24年にわたり、地域産業や福祉、教育・文化の振興など、地方自治の発展に大きく貢献されました。また、町議会議長や兵庫県町議会議長会会長なども務められ、議会運営に尽くされました。

## 自治会活動功労者に表彰

自治会活動に功労のあった人に贈られる県自治賞などの表彰式が11月11日、兵庫県連合自治大会(豊岡市)で行われ、次の方々が受

賞されました。

- ◆兵庫県自治賞  
村野 保司さん(福良)  
森 丞さん(福良)
- ◆兵庫県連合自治会会長表彰  
佐藤 正昌さん(広田)  
池上 睦男さん(賀集)

## ゆずりは賞

スポーツなどで優秀な成果を残した公立学校の生徒に、兵庫県教育委員会から贈られる「ゆずりは賞」を南あわじ市から次の2人が受賞しました。

- 福田千奈美さん(淡路三原高)
- 杉本佳奈美さん(淡路三原高)

## 補導活動で感謝状

- ◆兵庫県知事感謝状  
社会 薫さん(市)
- ◆兵庫県青少年補導委員連合会会長感謝状  
不動 伸さん(広田)

- 東 敬輔さん(神代)
- 東 弘さん(八木)
- 東 昌弘さん(賀集)
- 北野 隆弘さん(賀集)
- 北野 雅幸さん(福良)
- 龍本 大淳さん(沼島)



▲みんなで元気に阿波おどり体操を踊りました



▲贈呈式で、村上会長(左)からAEDを受け取る松本校長(右) AEDの使い方を学ぶPTAと教職員

## 元氣いっぱい、おなかいっぱいなかよし運動会

さくら苑の入所者が毎年楽しみにしている恒例の行事「なかよし運動会」が、10月21日にちどり保育所の園児たちを迎えて行われました。この運動会は健康づくりを目的に実施。南あわじ市で考えられたお達者音頭や、阿波おどりの動きを取り入れた阿波おどり振興協会による阿波おどり体操など、誰でも簡単

養護老人ホーム「さくら苑」

に体を動かすことができる種目を中心にたくさん行いました。

また、園児たちは可愛い遊戯を披露し、会場はたくさん拍手でいっぱいになり、楽しい時を過ごしました。

お昼ごはんは市消費者協会より、おにぎり弁当を用意していただき、みんなでおお楽しみしました。

## 観光ガイドなら、『国生みの里』へ！

おのころ島神社

多くの観光客に、南あわじ市の魅力を伝えていきたいと、このほどボランティアによる観光ガイドグループ『国生みの里』が結成されました。現在ガイドを行っている場

所は、おのころ島神社ですが、研修等を行い、案内できる場所を増やす計画をしています。11月5日、小野市から来た観光客14人にガイドを行った山崎さんは、「ガイドをして、色々なことを知ってもらえたらいいな」と話していました。

▲小野市からの14人の観光客に国生み神話を説明



▲ガイドしてもらった女性は「自分では分からないことも、よく説明してもらって、来た甲斐があった」と話していました

※ガイドの申込は、南あわじ市観光協会 ☎52・2336

## AEDを寄贈

南淡路ロータリークラブ

南淡路ロータリークラブ(村上雅信会長)が11月4日、社会奉仕の一環でAED(自動体外式除細動器)を福良小学校に寄贈しました。

村上会長は、「子どもたちには、安心して学校生活を送ってもらいたい。有効に使ってください」と話し、受け取った松本正也校長は、「玄関に設置し、万が一のときに備えたい。大事にさせていただきます」と話していました。

## 文化の秋、日頃の活動成果を発表

市内各地で文化祭を開催

文化・芸能活動に取り組む団体・個人の発表の場をつく



(上) 剣詩舞の演技。扇を持ち、詩吟に合わせて舞います (右) 琴の演奏。雅な音色で観客を魅了しました



▲盆栽展に訪れた人。小さな器に表現された出品者の技術に見入ります

参加者は展示部門、芸能部門とも、日ごろの活動の成果を余すことなく発揮。来場者に感動を与えました。11月3日、三原総合文化祭の展示会場に訪れた人は、「素晴らしい作品ばかり。市内に芸術家がいっぱいいるんですね。他の会場も見るといいですね」と笑顔で話していました。



▲ちよぼ汁とちらし寿司づくり。食堂は満席ですが、忙しさの中にも笑みがこぼれます

## 「社会を明るくする運動」作文コンテスト

南淡路ロイヤルホテルで表彰式



▲「一人ひとりが障害者と自然に接することができる社会に」と元気に発表する東さん

行われ、小中学生の力強い、自分の思いや夢の詰まった作文が披露されました。

入賞作品は、小中学生合わせて18点。小学校の部最優秀賞、東晴香さん(賀集小)の「笑顔あふれる社会へ」は、兵庫県保護司会連合会会長賞に選ばれ、中央大会に推薦されています。

表彰式の最後には、マリリンバとピアノの演奏が行われ、心地良い音色に、子どもから大人まで聞き入っていました。



▲アトラクションには、賀集出身の中田丈次さんによるマリリンバと辻村ゆずさんのピアノの演奏が行われました

## 大鐘院長、久留米大学で講演

地域医療10年を顧みて

阿那賀診療所の大鐘稔彦院長が11月1日、福岡県の久留米大学医学部主催の学園祭に招かれ、講演を行いました。

講演では、専門医からプライマリ・ケア医(総合医)に転じて10年余になる経験から、プライマリ・ケア医の使命や問題点などを2時間にわたって熱く語りました。大鐘院長は、「地域医療に携わる医師不足が全国的な問題となっている昨今、私のやってきたことが問題解決の一つの糸口になれば嬉しい」と話しています。



▲へき地の医師不足は全国的な問題だが、なぜへき地に医師が居つかないのかを自身の経験をもとに指摘した